

京浜東北線 川崎駅構内列車脱線事故の原因究明を通じて 安全風土再確立を求める

申15号

緊急申し入れ提出!

2月23日、京浜東北線川崎駅構内において、回送電車が資材搬入の軌陸車と衝突し脱線・横転する大事故が発生し、大惨事の中にあつて乗務員は奇跡的にも軽傷ですみ、工事関係者の負傷者もありませんでした。

2月14日の第40回定期中央委員会の中でも、事故の連鎖が断ち切れていない職場の現状や、安全を蔑ろにした人事異動などが報告され、同種事故が繰り返し発生している現実に対し、注意力・精神力のみに頼る会社の対策が、今回の事故を引き起こしたと言わざるを得ません。

私たちは、列車の運行、作業に従事する全ての仲間の命を守るために、抜本的な対策を求め、事故の再発防止を図り今後の認識と対応を明らかにするため申し入れをおこないました!

申し入れ項目

1. 京浜東北線川崎駅構内で発生した列車脱線事故の原因を明らかにすること。
2. 同種事故の再発防止に向け、背後要因を分析し、徹底した原因究明をおこなうこと。また、作業者の注意力のみに頼ることのない抜本的な恒久対策を講じること。
3. JR敷地内でおこなう工事の責任はJRにあることから、線路閉鎖を伴う全ての工事にJR社員が立ち会うこと。
4. 建築限界内作業は「原則線閉」でおこなうことの重要性を全関係社員に徹底すること。また、複数線が並列する区間において作業をおこなう場合は、全線線路閉鎖着手後に作業を開始すること。

「責任追及から原因究明へ」の安全風土を定着させ
JR東日本の安全風土を再確立させよう!